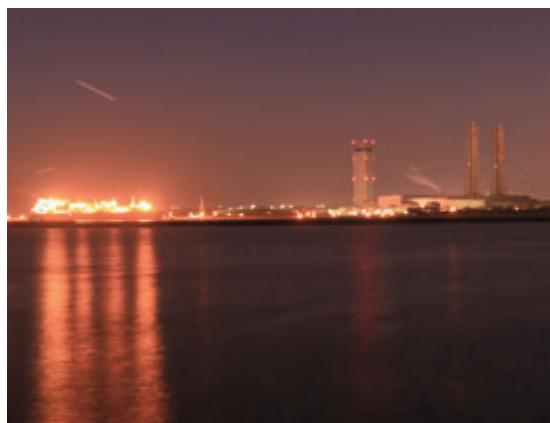




富津市議会発足から50周年という記念すべき節目をこの16人で迎えることができました。この記念すべき年に新たな取り組みとして、9月定例会（8月26日開会予定）から開かれた議会を目指し、本会議のインターネット中継を開始します。



「夜のとばり」

写真提供：千種新田・乗池 淑郎さん

富津絶景⁴³

富津市内には、素晴らしいスポットがあります。こっそり独り占めせず、欲びを分けてください。皆様のご応募をお待ちしております。
(上記編集先まで)

富津市議会 市制とともに歩んだ50年
..... 2～3 P

6月定例会..... 4～6 P

議決結果..... 7 P

個人質問..... 8～11 P

トピックス・定例会日程..... 12 P

ともに歩んだ 50年

平成14年12月

企業誘致対策特別委員会設置

企業が進出しやすい環境を整備するため、企業誘致条例を改正（平成16年9月）し、奨励措置の適用基準を緩和した

市長 白井 貫氏

議長 三平 正昭氏

人口 52,097人 議員定数 24人



初市議会

平成11年11月

財政非常事態宣言発表

平成17年11月、財政非常事態宣言解除

市長 白井 貫氏

議長 木村 茂氏

人口 53,357人 議員定数 26人



議場を見学するカールスバッドの高校生

平成4年11月

市役所新庁舎完成

新庁舎建設をめぐって、昭和51年から議論し、昭和60年12月に「市役所の位置を変更する条例」を制定し、建設へ

市長 黒坂 正則氏

議長 澤邊 治夫氏

人口 54,736人 議員定数 30人

昭和63年10月25日
カールスバッド市と
姉妹都市提携

富津市制50周年に併せ、激動の市議会50年の歩みを振り返ってみたいと思います。それぞれの町が合併を繰り返して、最終的に3町（富津町・大佐和町・天羽町）が合併しました。その流れの一端を紐解いていこうと思います。

3町合併（昭和46年4月25日）

富津町 + 大佐和町 + 天羽町

富津市誕生

（昭和46年9月1日）人口 54,083人

初代市長 佐久間 清氏（前富津町長）

初市議会選挙で36人（昭和47年4月16日）

（富津13人、大佐和11人、天羽12人）

初代議長 茂木 静雄氏

副議長 岩崎 一男氏

5年間の予算をタッチゾーン方式で予算配分
※タッチゾーン方式：合併前の3町それぞれの予算と執行権を残す経過措置

昭52年12月 山梨県塩山市

（現甲州市）と姉妹都市協定を締結
友好の証として、御影石の碑文が
贈られ、弁天山古墳近くに設置
（中央公民館脇）

昭和54年4月

市長選が再選挙

候補者5人、法定得票数を得ず

6月再選挙 候補者3人

当選市長 白井 長治氏

議長 大森 一郎氏

人口 56,116人 議員定数 36人

※人口：各年4月1日現在の常住人口

富津市議会 市制と

平成18年 3月

審議未了により流会

富津中学校校舎以外に多目的運動広場（通称ドーム）が必要か、議会が二分し流会

後日、臨時会を開催し、審議未了のまま廃案となった議案がすべて可決された

市長 佐久間清治 氏

議長 小林 新一 氏

人口 49,882人 議員定数 22人



平成17年 6月～

議会広報委員会設置

議員が自ら紙面の作成を始め、多くの議会が行政視察に訪れる

市長 佐久間清治 氏

議長 小林 新一 氏

人口 50,381人 議員定数 22人



行政視察の受け入れをする広報委員



議場コンサート

平成22年 3月～

議場コンサート開催

市議会にもっと関心を持ってもらうため、県立天羽高等学校吹奏楽部・合唱部を皮切りに議場コンサートを開催

市長 佐久間清治 氏

議長 鈴木 敏雄 氏

人口 47,929人 議員定数 22人



カフェ方式による議会報告会

令和 3年 9月

インターネット中継開始

開かれた議会を目指し、本会議のインターネット中継を開始

市長 高橋 恭市

議長 渡辺 務

人口 42,170人 議員定数 16人

平成27年10月～

議会報告会開催

より一層「議会活動の見える化」を図るため、市内各所で議会報告会を開催

市長 佐久間清治 氏

議長 鈴木 幹雄 氏

人口 45,636人 議員定数 18人

6月 定例会

◆条例等

▼図書整備基金条例の制定

実業家の前澤友作氏からの寄附金を財源として、図書施設の資料の購入及び設備の整備に要する経費に充てる基金を設置するため、条例を制定するものです。

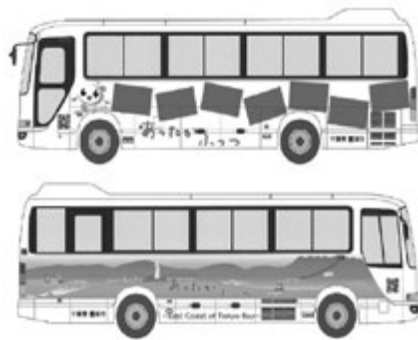
▼工事請負契約の変更契約の締結（防災情報通信ネットワーク整備工事）

令和2年度防災情報通信ネットワーク整備工事について、仕様及び設計の変更に伴い、契約金額を変更する必要性が生じたことから、議会の議決を求めるものです。

令和3年6月定例会は、6月1日から6月22日までの22日間で開催されました。議案13件、報告1件、請願3件、陳情1件について審議を行いましたので、その主なものを報告します。なお、議案等の採決の結果は、7ページをご覧ください。

▼財産の取得（生涯学習バス）

市制施行50周年記念事業で生涯学習バスを取得することについて、議会の議決を求めるものです。



新たに購入する生涯学習バスのイメージ図
（左側面には、市内児童の絵をペイントする予定）

◆補正予算

▼一般会計

国の施策に伴う子育て世帯生活支援特別給付事業、新型コロナウイルススワクチン接種事業などに係る経費及びこれらに関連する歳入などの補正をするものです。

(1) 補正予算第1号

（補正額 2697万円）

- ・子育て世帯生活支援特別給付事業（2697万円）

感染症の影響が長期化する中で、生活の支援を行う観点から、一定の所得に満たない子育て世帯のうち、ひとり親世帯に対し、先行して給付金を支給する。

(2) 補正予算第2号

（補正額 7902万円）

- ・防災関係費（予防伐採負担金）（754万円）

一昨年の台風による倒木被害等を鑑み、市道小志駒線69mをモデル地区とし、予防伐採を行う。



- ・子育て世帯生活支援特別給付事業（1216万円）

補正予算第1号に加え、ひとり親以外の世帯に対し、給付金を支給する。

- ・最終処分場整備事業

（3955万円）

最終処分場から発生する浸出水の処理能力を向上させるため、令和3年度当初予算において、令和5年4月の埋立竣工期限へ向けた施設増設工事費等を計上した。しかしながら、工事費が高額で



現在の最終処分場の様子

あるため、他手法の調査・検討を重ねた結果、下水道放流による浸出水の処理が有効であるとの結論に至ったことから、予算を施設増設工事から下水道放流施設工事に組み替える。

・橋梁長寿命化修繕事業

(繰越明許費 1億4600万円)

令和3年度当初予算で予算計上された市道海岸線・海岸橋の修繕工事の入札が中止となったため、来年度に予算を繰り越すこととした。



修繕工事中の市道海岸線海岸橋

・学校給食共同調理場整備事業

(313万円)

令和3年度当初予算において、

現在3箇所ある調理場を統合し、新たな共同調理場を建設するための設計業務委託料を施設規模1350㎡で計上したが、令和3年3月に共同調理場整備基本計画を策定し、適正な施設規模は1700㎡であるとしたことから、予算を増額計上する。また、調理場用地の測量業務を実施するに当たり、全面の草刈りを実施する。

(3) 補正予算第3号

(補正額 4059万円)

・子育て応援きずな事業

(30万円)

感染症の影響により、収入が落ち込んでいる家庭に対し、小中学校や公共施設において生理用品を無料で配布する。

・WEB版総合防災マップ構築事業

(124万円)

災害時にWEB上で、通行止め箇所を地図上に表示し、開設避難所情報(混雑状況等)を随時更新するサービスをスタートする。

・避難所感染症対策事業

(825万円)

避難所の感染症対策に万全を期すため、防災用パーテーションを整備する。



昨年の9月に実施した避難所開設訓練の様子

・保育所等PCR検査事業

(225万円)

・小中学校PCR検査事業

(263万円)

小中学校、公立・私立の保育所等において、新型コロナウイルス感染症患者が同一集団で複数発生した場合、感染拡大の防止や学校教育及び保育等の継続を図るため、在園児、保育士、児童・生徒等のPCR検査費用を全額負担する。

(4) 補正予算第4号

(補正額 2億4935万円)

・新型コロナウイルスワクチン接種事業 (2億2233万円)

ワクチン接種を行う医師・看護師等を確保し、迅速なワクチン接種体制を構築するため、休日や時間外の接種に係る接種費用を上乗せする。

また、集団接種会場に係る案内整理業務や看護師派遣業務などについて、予算が不足する見込みであるため、委託料を増額する。



新型コロナウイルスワクチン集団接種の様子

・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援事業

(2702万円)

感染症による影響が長期化する中で、総合支援資金の特例貸付が終了した世帯などに対し、就労による自立を図ることなどを目的として、自立支援金を支給する。

◆ 請 願

▼「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願

（提出者…子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会 会長 秋田 秀博）

この請願は、令和4年度予算編成にあたり「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」を採択し、政府及び関係行政官庁に意見書の提出を要望するものです。

▼「国における令和4（2022）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願

（提出者…同右）

この請願は、令和4年度予算編成にあたり、憲法・子どもの権利条約の精神を生かし、子どもたちによりよい教育を保障するために「国における令和4（2022）年度教育予算拡充に関する意見書」を採択し、政府及び関係行政官庁に意見書の提出を要望するものです。



教育予算を充実させることにより、教育環境を整備し、子どもたちの健全育成を目指していく

▼産業廃棄物最終処分場「君津環境整備センター」第Ⅰ期処分場漏洩事故の改善を求める請願

（提出者…ふるさとの水を守る会 共同代表 金森 春光・青山 芳久・松崎 進）

この請願は、千葉県が許可した産業廃棄物最終処分場「君津環境整備センター」第Ⅰ期処分場の漏洩事故と現在も続く膨大な内部保有水の滞留について、未来の子どもたちの水道水源の森と命の水を守るため、千葉県が事業者に廃棄物掘り起こし等による本質的原因究明と抜本的解決の実施を指導するよう、千葉県に意見書の提出を要望するもので、次の討論があります。

（反対討論）

命の源である水を守っていかねばならないという切実な思いの込められた請願者の主張は、良く理解できる。しかし、君津環境整備センターも許可権者である千葉県から管理型最終処分場として許可を受けている以上、操業を続けている行為は、当然の権利である。また、両者の見解の相違を解決する機関が裁判所であるが、令和3年2月、事業者に対する第Ⅲ期処分場建設や操業停止を求めることに関する千葉地裁の判決で、債権者の申し立ては却下された。法律に基づく申請に対し、行政庁が許可し、裁判所が判断している案件である。

（賛成討論）

君津環境整備センターの第Ⅰ期処分場は、平成14年に汚染物質の漏洩事故を起こし、搬入停止となり、厚いシートに覆われた状態で、既に9年経過している。

この請願内容は、至ってシンプルなもの、事業者が原因究明等を県から指導するように求めている。この水源を生活の糧にしている地域住民や未来の子どもたちのためにも、このまま放置されることは、許されることではない。

◆ 陳 情

▼市内の小・中学校に無償で使える生理用品を継続的に配置することに陳情

（提出者…新日本婦人の会 ふつつ班 八田 厚子・高橋 博子）

この陳情は、市内の小・中学校の女子トイレ個室に、無償で使える生理用品を継続的に配置することを市に要望するもので、次の討論がありました。

（反対討論）

市では、児童・生徒が健康で衛生的な生活が送れるように 4月28日、防災備蓄品の中から生理用品を各小中学校に配置した。学校の保健室には、40年以上前と記憶にないほど、古くから配置されている。さらに、補正予算で公共施設に配置できるように予算計上されている。この陳情は、既に願意が満たされていると考える。

（賛成討論）

女性の身体は、とてもデリケートであり、精神的な悩み、不安、ストレスなどで周期管理などできない。この陳情は、生理用品が買えない、用意できない児童・生徒など、すべての女子が心配なく学校生活を送れることを思っている陳情である。



令和3年6月定例会の 議決結果



※議案13件、報告1件、請願3件、陳情1件の議決結果は次のとおりでした。

議 案 等	議決結果	宮崎 晴幸	渡辺 純一	三富 敏史	福田 好枝	関 努	猪瀬 賛 浩	諸岡 賛 隆	三木 千 明	千倉 淳 子	山田 重 雄	平野 英 男	佐久間 勇	石井 志 郎	平野 明 彦	福原 敏 夫	渡辺務議長
税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めること	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
図書整備基金条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
手数料条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
税条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
福祉有償運送運営協議会設置条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
工事請負契約の変更契約の締結 (防災情報通信ネットワーク整備工事)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
財産の取得（生涯学習バス）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和３年度一般会計補正予算（第２号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めること	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めること（２件）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和３年度一般会計補正予算（第３号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和３年度一般会計補正予算（第４号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和２年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
「国における令和４（２０２２）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
産業廃棄物最終処分場「君津環境整備センター」第Ⅰ期処分場漏洩事故の改善を求める請願	不採択	●	●	●	○	●	○	●	●	○	●	●	●	●	○	●	—
市内の小・中学校に無償で使える生理用品を継続的に配置することに関する陳情	不採択	●	●	●	○	●	○	●	●	○	●	●	●	●	●	●	—

議長は、地方自治法の規定により、採決に加わりません。
議案名中の『富津市』及び『～について』は省略表示しています。

○ = 原案賛成 ● = 原案反対

新型コロナウイルス感染症 対策



石井 志郎
議員

問 富津市の現状と拡大防止策は。
市長 個別接種を実施する協力医療機関の皆様には、ご負担をおかけしているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止し、市民の生命及び健康を守るため、引き続き、ワクチン接種のご協力をお願いしていく。

問 接種キャンセルとその対応は。
健福部長 余剰ワクチンの対応は、障害者入所施設の従事者などに接種し、無駄なく接種できている。

問 64歳未満への接種券の発送は。
健福部長 感染リスクと闘いながら働き続ける介護職や保育士、教職員などの「エッセンシャルワーカー」の方についても優先的に接種を考えている。64歳以下に対しては、接種券を7月以降に発送していく。

問 小中学生12歳以上の接種は。
健福部長 12歳以上の小中学生への接種は、国の動向を踏まえ、教育委員会とも協議をしながら進めていく。

問 今年の市内海水浴場とその周辺の駐車場の取り扱いについて。
建経部長 本年度は、今後の感染状況を踏まえ、千葉県や観光協会

等の関係団体、海の家関係者に意見を伺いながら、市民や来訪者の安全を確保することを最優先に検討していく。また、駐車場及び海岸砂地への車両の進入やバーベキュー等については、海岸管理者や警察、地元等とも連携し、周知方法も含め、対応を協議していく。

問 小中学校統廃合の跡地利用は。
総務参与 先行して取り組みを開始した旧金谷小学校は、敷地内に唯一借地等がなく、有効活用に結び付けやすいと考えられ、また、旧天羽東中学校は、現天羽中学校の校舎建設の際に活用した地方債の条件で、旧天羽東中学校の施設を令和6年度末までに除却や転用する必要があり、取り組みを開始した。



集団接種 富津市民会館会場

より良い富津市のために



関 努
議員

問 65歳以上のワクチン想定接種率と接種率向上に向けた取り組み等について伺う。

市長 接種率70%を想定している。重症化率の高い年齢層の方が早めに接種できるよう接種券を段階的に発送した。64歳以下の方も円滑に接種できるよう進めていく。

問 県政への要望で、「災害から県民を守る」が10年連続トップ。防災力向上に向け、気象防災アドバ

イザーの活用と普及については。
市長 気象情報等を利用することは防災・減災上極めて重要。効果的な情報獲得手段として検討する。

問 情報端末の活用及び情報管理と教職員の向上について。
教育長 授業での活用方法を研修している。成績などの個人情報情報は情報端末に登録していない。教職員研修等で授業等での効果的な活用方法などを研修し充実に努める。

問 障がい等をお持ちの接種希望者の円滑な接種について伺う。
健福部長 案内スタッフの配置、手話通訳サービスの導入等、配慮した体制を整え実施していく。

問 貸与型奨学金は、大学生等の2.7人に1人が利用。だが返済延滞

者も多い。一定期間当該自治体に定住すれば、返済を肩代わりする制度があるが導入について伺う。

総務参与 有効な施策と考え、移住定住の促進策として調査する。

問 災害発生時に避難所の混雑状況等をLINE等を使い、リアルタイムで市民の皆様伝えては。
総務部長 開設状況や混み具合等が確認できるシステムの導入を検討している。

問 不登校の児童等がオンラインで自宅学習できる取り組みは。
教育部長 個々の状況に応じて、丁寧な対応に努める。

問 中学校授業でがん教育が始まった。当市での対応について伺う。
教育長 健康と命の大切さについて理解を深める授業を行う。



新型コロナウイルスワクチン集団接種の様子

PCR検査・就職支援・ 学校へ生理用品を



福田 好枝
議員

問 65歳以上等のPCR検査助成事業の現在の予算残額は。

健福部長 前年度から618万1千円を繰り越し、610万2千円。

問 ワクチンの接種が進み、高齢者の方のこの事業の利用が少なくなると思うが、若い世代のPCR検査に回しては。

健福部長 現在のところ実施する予定はない。

問 ワクチン接種の副反応で休業する場合、会社員や公務員等は、特別な休暇等の補償があるが、国民健康保険の方は補償制度がない。支援を考えているか。

健福部長 現在、補償はない。今後、国や県の動向を注視していく。

問 国民健康保険基金を活用して、ワクチンの接種者に支援金を支給するなどの考えはあるか。

健福部長 意見等は参考にする。問 ハローワークでは、コロナ禍で職を失った人の資格の取得について、無料で受講できる研修を紹介しているが、テキスト代や交通費は自己負担。スキルアップのための支援金を市独自で行う考えは。

訓練受講給付金10万円が受給できる「求職者支援制度」を活用し、資格の取得を支援している。

問 防災備蓄の生理用品の小中学校への配布枚数は。

教育部長 小学校2166枚。中学校2166枚。

問 トイレレットペーパーが常備されているのと同じように生理用品も常備しては。

教育部長 今後、検討する。

問 不登校児童生徒は何人か。

教育長 令和2年度、小学校8校で8人。中学校3校で21人。

問 学校以外の居場所とは。

教育部長 市教育センターが、指導員2名を雇用し、週4日、中央公民館で適応指導教室を運営。3中学校内にも適応指導教室を設置。



2月7日にハローワーク・企業・市と共に開催された「運転のお仕事説明面接会 in イオンモール富津」

移住定住促進事業について／敬老 事業について／食品ロスについて



三富 敏史
議員

問 令和3年4月1日現在の市の人口は4万2170人、前年度と比較すると585人減少している。

このペースでは、市が掲げる「人口ビジョン2040」の目標値3万4千人を維持するのは困難と思われる中、今年度から設置された

移住定住推進室では、どのような取り組みを行っていくのか伺う。

市長 これまでの移住定住施策であるUIターンによる起業・就業者等創出事業や空家バンクリフォーム補助などを推進していく。

問 セカンドライフなどで、UIターンを考えている方が、生活に必要な情報を検索しやすいように市ホームページを改良し、有効活用しては。

総務参与 市の魅力の紹介には、ホームページやSNSでの情報発信は有効な手段であり、内容の充実を図っていく。

問 健康で長生きは万民共通の願い。市では健康寿命を延ばす目的で「いきいき百歳体操」に取り組んでいる。長年、市に貢献いただいた高齢者に対し、敬老事業の更なる充実を図り、健康長寿日本一のブランドを確立させる考えは。

市長 市では、88歳到達の方に祝状、101歳以上の方に祝金、100歳到達の方に祝状と祝金を贈呈。100歳到達の方は、内閣総理大臣から祝状と銀杯も贈られる。

問 食品ロスは、2015年に国連サミットで採択された持続可能な開発目標いわゆるSDGsにて

具体的な削減目標が示された。日本では食品ロスの削減の推進に関する法律が施行されたが、市の食品ロス削減に向けての取り組みを伺う。

市長 法律では、行政、事業者、消費者各々の役割が定められている。消費者として、一人一人が買い過ぎない、作り過ぎないなど、意識を変え、身近な取り組みを心掛けていくことが大切と考える。



UIターンや空家バンクを推進し、移住定住を促進する。また、長年、本市に貢献いただいた高齢者の長寿を祝福する

SDGs住み続けられるまちづくりへの取組

問 自然豊かな富津市、この海の豊かさ、陸の豊かさを維持発展させる取り組みは。

市長 東京湾と房総丘陵に挟まれ、南北40キロの海岸では、全国有数の浅海漁場を有し、ノリ養殖、底引き網、刺し網、潜水器漁業、アナゴ筒漁など多様な漁業が営まれる。陸では、寒暖差の少ない気候と首都圏近郊という立地条件から、水稲・野菜・畜産・シイタケ栽培など、バランスの取れた農林業が営まれ、次世代につながるもので、維持発展のため支援を行っている。

問 自主防災は、地域の実情に合わせ共助で対処する必要がある。

地域防災への取組と現在の対応は。
市長 災害発生直後は、自主防災組織に大きな役割を担っていただくことになる。地域の防災リーダーとなる人材の育成と自主防災組織の結成を促進する。

問 教育は、その子の考え方や進路にまで影響する。質の高い教育への取り組み、教育方針は。

教育長 知・徳・体のバランスの取れた教育が求められており、心豊かで、確かな学力を身につけた児童生徒の育成と成長を支える教



佐久間 勇
議員

育力の高い学校づくりの三つの柱で構成。人に優しく思いやりのある児童生徒の育成。読解力の向上を目指し、読み書きを大切にし、読書活動を推進。今年度から全小学校で放課後学習教室を実施。
問 東京湾の水質状況を市は掌握しているか。

建経部長 ノリの生育に影響を与える窒素やリンは少なくなっている。これらの栄養塩類を管理する特措法が改正され、国は瀬戸内海同様に東京湾でも検討している。
問 質の高い教育を進める上で、学校の特色化と地域力活用は。

教育長 小学校では畑作りや海苔すき体験、歴史探訪、読み聞かせ、中学校では職場体験学習等、地域と共に歩む学校づくりに努める。



心やさしい 思いやりある <富津っ子>

まちをきれいにする条例・環境美化事業補助金／市民への情報発信・計画一覧表

問 富津市まちをきれいにする条例の第16条に、罰則が規定されているが、実績は。

市民部長 故意の違反を立証する必要があるため、実績はない。
問 月に1・2回程度のパトロールでは、発見は不可能と考える。

市民部長 不法投棄防止対策において、一定の効果があると考えている。
問 富津市環境美化事業補助金交付要綱の内容及び交付団体数は。

市民部長 地域の環境美化を目的に清掃活動等を1年間に2回以上かつ2年以上継続している団体に補助金を交付する制度で、現在、3団体に交付している。

問 この制度の予算総額は17万円程度なので、1団体5万円程度としますが、交付団体が増えた場合、予算の拡充を図る考えはあるのか。
市民部長 検討していく。

問 ボランティアの意味は、「無償で活動する」ではなく、「自ら進んで社会貢献する」なので、市としてのサポートもしっかり考えてもらいたい。そこで、この補助金の申請方法を市ホームページに掲載し、広く周知できないか。



猪瀬 浩
議員

市民部長 見直しを行い、広く周知を図っていきたいと考える。
問 市民への意見を求める公告を、庁舎等の外にある公告掲示板でまたま発見したが、普通は気付けない。他自治体が採用している電子公告掲示板等の検討は。

総務部長 効果等を研究していく。
問 計画一覧表から、それぞれの計画へのハイパーリンク等対応を。

総務部長 市民の皆様が利用しやすい方法を検討していく。
問 内裏塚古墳群保存活用計画についてだが、維持管理等に取り組んでいるボランティアの方たちと連携を図って策定できないか。

教育部長 ボランティア団体の皆様の意見を伺いながら、計画を策定していけるように考えていく。



ボランティア団体での美化清掃活動。地元住民、市や警察と再発防止対策を協議している不法投棄ゴミの山

市内公園の活用／ 天羽地区の学校跡地利用

問 市内にある国定・県立・市立の公園の位置付けは。

市長 市内には、南房総国定公園や県立高宕山自然公園など、自然公園が点在している。また、県立富津公園や富津みなと公園・上総湊港海浜公園など、都市公園や児童公園が存在し、スポーツ・レジャー・観光・憩いの場として多種多様に活用されている。

問 富津公園について市長の考えは。

市長 富津公園のみならず、県立の公園は、市にとって大変魅力のある部分である。今の時代や利用者ニーズに合った変化に対応できるように、県と協議して進めていくことが必要であると考えている。

問 学校跡地の利活用の進め方は。

総務参与 公共施設再配置推進計画の方針に基づき、地域の意見を踏まえ、民間活力の導入を図りつつ、有効活用について検討していく。

問 これまで学校跡地の件について、民間企業などから市に直接問い合わせ等は何件あったか。また、地元はその情報提供は。

総務参与 これまで、各種法人や団体10者程度から問い合わせが



千倉 淳子
議員

あった。地元の方への情報提供は、事業者の決定が公募であるため、行っていない。

問 廃校跡地のことに関して地権者への説明は。

総務参与 地権者の方々の意向は、閉校時に書面により伺っている。

今後、利活用を考えるワークショップの実施前や利活用事業者の公募の前など、その都度、説明を行っていく。

問 今後の進め方について、市長の考えは。

市長 閉校した学校の利活用に向けた取り組みは、各施設の状態などを総合的に判断し進めていく。基本的な考え方は、地元のご意見を聞く機会をしっかりと作った上で公募し、進めていく。



令和2年3月31日をもって閉校した
旧竹岡小学校

富津市民が安心して生活できる 市の対応・対策等について

問 今般の感染症拡大により、企業等、事業活動に大きな影響が及び、伴って、各個人の皆さんには雇用面、収入面で困窮する方々が時間の経過とともに増加しており、他にも国や在先の自治体でも把握できないデリケートな内容も当然ながら存在している。一例としては、いわゆる生理の貧困といわれる事例であり、就業している世帯や個人のみなならず、特に仕送りを受けている大学生や専門学校生の間では大きな問題となっている。また、この問題に取り組んでいる市民団体の調査の結果では、アンケートに回答した若者のうち、5人に1人が「金銭的理由から生理用品を買うことに苦労したことがある」と回答している。収入や仕送りの減少等により、あらゆる支出を減らしていく上で、生理用品にかける費用を減額していることが深刻な問題となっている中、豊島区では、行政の備蓄品を活用した生理用ナプキンの無料配布や生理用品を保存食などと併せて袋詰めにし、区役所の女性相談窓口や社会福祉協議会などを通じて提供している。



三木 千明
議員

このような生理の貧困対策を富津市で行えないかと、まず、防災安全課で防災備蓄品の品種や在庫管理状況とローリングストックの様子などを確認し、富津市における生理の貧困対策として、市の災害時等備蓄品で対象品があれば、ローリングストック周期等において「無料配布などの有効活用してみてもどうか」と話したが、その後の対応等伺う。

総務部長 4月27日に総合防災備蓄倉庫に保管の生理用品の状態及び個数を再確認し、翌日に学校教育課を通じ、市内小中学校へ配布した。各学校の配置場所については、必要とする児童・生徒が自由に使えるよう工夫し、女子更衣室やトイレなどとした。



飲料水や生理用品など、生活必需品を保管している防災備蓄倉庫

かずさ四市議会議長会正副議長会議

話題



5月21日に「かずさ四市議会議長会正副議長会議（オンライン会議）」が開催され、渡辺務議長・平野英男副議長が出席し、電子地域通貨「アクアコイン」事業、ワクチン接種などについて、意見交換しました。

議友会解散



市議会議員を退任された方で構成し、昭和56年に設置された「富津市議友会」は、会員の減少が続き、今年度は5人となり、存続が困難な状況であることから、4月23日をもって解散し、議友会に属した財産を市に寄附しました。

本会議インターネット配信説明会



6月10日に「本会議のインターネット映像配信説明会」が開催され、全議員が出席し、委託業者から視聴方法の説明を受け、その後、議員の発言のルールなどを確認しました。

グラウンド・ゴルフ大会



6月2日に旧佐貫中学校グラウンドで、第22回富津市（市杯）グラウンド・ゴルフ大会が開催され、来賓として渡辺務議長・福原議員が挨拶を行い、石井議員が参加しました。

環小児童議場見学



6月17日に環小学校3・4年生の児童14名が、議場見学を訪れ、市議会の仕組みについて、山田議員から説明を受けました。

マザー牧場グランピング内覧会



6月10日にマザー牧場グランピング「THE FARM」内覧会が開催され、15名の議員が参加しました。

【編集後記】

富津市議会は、本年9月1日に発足50周年を迎えます。この記念すべき50年という節目を迎えることができるのも、これまでさまざまな形で私たちが支えてきてくださった、市民や関係者の皆様のおかげであり厚く御礼申し上げます。

今後も、先人が幾多の困難を乗り越え築いてきた富津市の歴史を胸に刻みながら、新しい価値を創造し、社会貢献するための合意形成をしてまいります。

富津市議会の成長のため、市民の皆様には引き続き、ご指導賜りますようお願い申し上げます。（ひでお）

9月定例会日程

8月26日（木）	10時	開会
9月1日（水）	9時30分	議案の上程
2日（木）	9時30分	一般質問
3日（金）	9時30分	一般質問
7日（火）		常任委員会
8日（水）		常任委員会
14日（火）		決算審査特別委員会
15日（水）		決算審査特別委員会
22日（水）	10時	委員長報告 議案審議 閉会

※本会議のインターネット中継を議会ホームページでご覧ください。